

研究課題名	同種造血幹細胞移植後の結核感染症に関する多施設共同後方視研究
研究の意義・目的	欧米先進諸国の一般集団における結核罹患率は人口 10 万人あたり 2.7 と報告されているのに対し日本の一般集団における結核罹患率は人口 10 万人あたり 14.4 であり、欧米先進諸国と比べ高率である。同種造血幹細胞移植後の結核罹患率はその地域における一般集団の罹患率を反映し、地域差が大きい。同種造血幹細胞移植後の結核罹患率は一般集団と比較して 10-40 倍高く、0.1-5.5%と報告されている。しかし本邦における同種造血幹細胞移植後の結核感染症の罹患率やリスク因子のまとまった報告はない。そこで本研究では、関東造血細胞移植グループ（KSGCT）の多数例の移植患者データを用いて後方視的に結核の発症頻度やリスク因子の同定を行う。
研究の方法	この研究では、既に移植した患者さんの病気や移植に関する情報（年齢、性別、疾患、ドナーの種類、前処置、移植片対宿主病予防法、結核感染の有無、免疫抑制剤の投与）をカルテから収集し、個人情報を除いた上でデータをまとめて統計解析を行い、結核感染症の発症頻度やリスク因子を検討します。
研究の期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究対象の期間…2002 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日</li> <li>・研究実施期間…倫理審査委員会承認日～2021 年 12 月 31 日</li> </ul>
試料・情報の外部機関への提供	あり 提供先：自治医科大学附属病院・附属さいたま医療センター血液科 教授 神田善伸（研究代表者） 都立駒込病院 血液内科 医長 土岐典子
個人情報保護の方法	この研究では、個人を識別できる情報は除いた上で（匿名化といいます）情報を扱い、個人情報が外部に漏れないようにします。
結果の公開	この研究の結果は、共同研究者と協議の上で研究代表者が論文や学会発表の形で公表される可能性があります。その際、個人を識別できる情報は一切含みません。
試料・情報の管理責任者	都立駒込病院 血液内科 医長 土岐典子
当院の責任者及び問合せ窓口	成田赤十字病院 血液腫瘍科 青墳信之 電話番号：0476-22-2311（代表番号）